

《 虐待の事例 》

1 虐待を受けている高齢者の状況

〔 事例が見られた機関について2件まで記載：199件 〕
 無回答があるため、合計数は一致しない

年齢、性別

区 分		65歳～ 69歳	70歳～ 74歳	75歳～ 79歳	80歳～ 84歳	85歳～ 89歳	90歳～ 94歳	95歳 以上
年齢	件数	12	39	43	35	36	14	4
	割合	6.6	21.3	23.5	19.1	19.7	7.7	2.1
性別	男性	2	14	11	7	4	3	0
	女性	10	25	32	28	32	11	4

平均年齢は79.4歳

要介護度

区分	自立	要支援	要 介 護					申請中	未申請	不明
			1	2	3	4	5			
件数	8	5	33	23	44	28	22	2	22	2
割合	4.2	2.6	17.5	12.2	23.3	14.8	11.6	1.1	11.6	1.1

障害高齢者・認知症高齢者の日常生活自立度

【障害高齢者の日常生活自立度】

区 分	障害なし	J	A	B	C	不明	合計
件 数	17	38	49	52	23	5	184
割 合	9.2	20.7	26.6	28.3	12.5	2.7	100

【認知症高齢者の日常生活自立度】

区分	認知症なし					M	不明	合 計
件 数	40	30	55	38	16	1	10	190
割 合	21.1	15.8	29.0	20.0	8.4	0.4	5.3	100

世帯の経済状況

区分	余裕がある	生活に困らない程度	時々困る	常時困窮	不明	合計
件数	19	78	36	49	14	196
割合	9.7	39.8	18.4	25.0	7.1	100

2 虐待者の状況

虐待を受けている高齢者との続柄

区分	配偶者	娘	息子	息子の配偶者	娘の配偶者	兄弟姉妹	孫	その他	不明
件数	30	33	66	34	6	7	7	11	0
割合	15.5	17.0	34.0	17.5	3.1	3.6	3.6	5.7	0

虐待者の年齢、性別

区分	概ね40歳未満	40歳～64歳程度	65歳以上	不明	合計
件数	29	127	41	0	197
割合	14.7	64.5	20.8	0	100

区分	男性	女性
件数	104	84
割合	55.3	44.7

同居・別居の状況、日常の接触時間

【同居・別居】

区分	高齢者本人と同居	近隣別居	遠隔地別居	不明	合計
件数	171	14	10	1	196
割合	87.3	7.1	5.1	0.5	100

【虐待者と虐待を受けている高齢者の接触時間】

区分	日中も含め常時	日中以外の常時	週に数日程度	月に数日程度	ほとんどない	不明	合計
件数	108	43	15	7	11	7	191
割合	56.5	22.5	7.8	3.7	5.8	3.7	100

介護への取り組み、介護協力者等の有無

区分	主たる介護者として介護	補佐的に介護を行っていた	介護には関与していた	介護は不要であった	不明	合計
件数	105	19	29	24	13	190
割合	55.3	10.0	15.3	12.6	6.8	100

区分	介護の協力者がいた	相談相手はいたが協力者なし	協力者も相談相手もなし	不明	合計
件数	36	37	35	9	117
割合	30.8	31.6	29.9	7.7	100

3 虐待の状況

虐待の内容（複数回答）

	合計	身体的	心理的	性的	経済的	介護・世話の放棄・放任
件数	343	104	90	2	55	92
割合	100	30.3	26.2	0.6	16.1	26.8

虐待の深刻度

区分	危険な状態	心身に悪影響	無視・軽視状態	不明	合計
件数	40	101	46	3	190
割合	21.0	53.2	24.2	1.6	100

虐待のついての自覚

1) 虐待を受けている高齢者の自覚

区分	自覚がある	自覚がない	不明	合計
件数	99	52	44	195
割合	50.8	26.7	22.5	100

2) 虐待者の自覚

区 分	自覚がある	自覚がない	不 明	合 計
件 数	55	97	43	195
割 合	28.2	49.7	22.1	100

虐待を受けている高齢者からの虐待についての意思表示

区 分	何らかのサインがある	隠そうとする	何の反応もない	不明	合計
件 数	92	26	49	24	191
割 合	48.2	13.6	25.7	12.5	100

虐待の発生の要因と考えられること

NO	区 分	最も影響		その他影響	
		件	%	件	%
1	高齢者本人と虐待者の人間関係	27	20.6	71	9.8
2	虐待者の性格や人格	22	16.8	84	11.6
3	高齢者本人の認知症による言動の混乱	17	13.0	53	7.3
4	虐待者の介護の疲れ	11	8.4	54	7.5
5	経済的困窮	10	7.6	62	8.6
6	高齢者本人の身体的自立度の低さ	4	3.1	61	8.4
7	高齢者本人の排泄介助の困難さ	2	1.5	54	7.5
8	高齢者本人の性格や人格	4	3.1	54	7.5
9	配偶者等との無関心・無理解等	7	5.3	43	5.9
10	虐待者の知識や情報の不足	1	0.8	42	5.8
11	虐待者の外部サービスの利用による抵抗感	0	0.0	32	4.4
12	その他	26	19.8	114	15.7
	合 計	131	100.0	724	100.0

「その他影響」欄については、複数回答

「最も影響」欄のNO5までの区分については回答の多い順に、「その他影響」欄のNO6以降は、それ以外の多い順に記載した。

4 関係機関との関わり

虐待の発見、気づきの状況

区分	あなた自身の気づき	貴機関の気づき・連絡	高齢者本人から申告	虐待をしている人からの申告	高齢者本人の家族等の連絡
件数	24	36	21	9	16
割合	12.5	18.8	10.9	4.7	8.3
区分	貴機関の他の利用者等の連絡	住民からの連絡	民生委員からの連絡	他の機関からの情報連携	その他
件数	1	10	11	44	20
割合	0.5	5.2	5.7	22.9	10.4

現在の対応状況

区分	虐待行為は見られなくなった	改善に向けて取り組んでいる	改善に向けた取り組みはない	虐待継続ま ま本人死亡	不明	合計
件数	24	36	21	9	16	106
割合	22.6	34.0	19.8	8.5	15.1	100

問題解決のためのサービスの利用状況

1) 解決のための入院・施設入所等のサービスの利用状況

区分	措置により特養・養護老人ホームに入所	契約により特養に入所	特養に特例で入所	病院に入院	老人保健施設に入所	ケアハウス・グループホーム等に入所
件数	10	10	7	20	11	6
割合	7.6	7.6	5.3	15.2	8.3	4.5
区分	施設への入所等の 手続中・待機中	入院・入所サービスの 利用なし	その他	不明	合計	
件数	17	31	18	2	132	
割合	12.9	23.5	13.6	1.5	100	

2) 解決のために新規・増加させた在宅介護サービス（複数回答）

区分	訪問介護	訪問入浴	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所者生活介護	短期入所療養介護	居宅療養管理指導
件数	38	4	8	0	34	2	52	10	0
割合	14.2	1.5	3.0	0	12.7	0.8	19.5	3.7	0
区分	福祉用具貸与	医師の往診	ケアマネを 変更	ケアマネ等の訪問回数 の増	特に変化なし	要介護状態でない	その他	不明	合計
件数	7	4	3	63	18	8	15	1	267
割合	2.6	1.5	1.1	23.6	6.7	3.0	5.6	0.4	100

3) 地域福祉権利擁護事業、成年後見制度の利用状況（複数回答）

区分	権利擁護事業を利用	成年後見制度を利用	利用していない	不明	合計
件数	10	2	132	3	147
割合	6.8	1.4	89.8	2.0	100

問題解決のために行った虐待者への働きかけ（複数回答）

区分	件数	割合
虐待をしている人の相談に十分のった	51	13.5
虐待をしている人の気持ちの理解に努めた	80	21.2
虐待をしている人への説得を行った	29	7.7
虐待をしている人以外の親族へ理解・協力を求めた	52	13.8
虐待をしている人の介護負担を軽減させるような介護サービスを勧めた	64	16.9
(一時的な)分離を勧めた	44	11.6
介護教室や介護家族団体への参加を勧めた	11	2.9
専門家(医師・弁護士等)による相談を勧めた	13	3.4
見守るしかなかった	19	5.0
その他	11	2.9
特に何もしていない	4	1.1
合計	378	100

対応の困難さ、援助上、困難であった点（複数回答）

区分	特に難しさは感じなかった	多少の困難さは感じた	極めて対応に苦慮した
件数	11	63	73
割合	7.5	42.9	49.6

区 分	件 数	割 合
自分がどのように関わればよいか、技術的に難しかった	41	13.8
自分がどのように関わればよいか、立場的に難しかった	21	7.0
誰が主導的に関わればよいか分からなかった	22	7.4
関連機関との連携が難しかった	18	6.0
虐待に対応できるスタッフがいなかった	24	8.1
緊急避難的に入院・入所できる医療機関や福祉施設がなかった	21	7.0
援助するためのサービスが近隣には不足していた	0	0
高齢者本人が介入を拒む	18	6.0
虐待をしている人が介入を拒む	44	14.8
その他の家族が介入を拒む	18	6.0
経済的理由でサービス利用を増やすのが困難だった	50	16.8
その他	21	7.0
合 計	298	100

家庭内において、家族・親族等から下記のような虐待と考えられる行為を受けた高齢者を対象に調査した。

区 分	内 容 と 具 体 例
身体的虐待	<p>【内容】</p> <p>暴力的行為などで、身体に傷やアザ、痛みを与える行為や、外部との接触を意図的、継続的に遮断する行為。</p>
	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身体に傷やアザ、痛みを与えるほど平手打ちをする、つねる、殴る、蹴る、やけど、打撲をさせる ・ 繰り返し無理やり食事を口に入れる ・ ベッドや家具等に縛りつけたり、部屋に閉じ込めて行動を制限する ・ 意図的に薬を過剰に服用させたり身体的・精神的異変を引き起こす / 等
心理的虐待	<p>【内容】</p> <p>脅しや屈辱などの言語や威圧的な態度、無視、嫌がらせ等によって精神的、情緒的に苦痛を与えること。</p>
	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 排泄の失敗等を嘲笑したり、それを人前で話すなどにより高齢者に恥をかかせる ・ 怒鳴る、ののしる、悪口を言う、厄介扱いする、高齢者が話しかけているのを意図的に無視するなどを常態的に行う / 等
性的虐待	<p>【内容】</p> <p>本人との間で合意が形成されていない、あらゆる形態の性的な行為またはその強要。</p>
	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 排泄の失敗等に対して懲罰的に下半身を裸にして放置する ・ キス、性器への接触、セックスを強要する / 等

区 分	内 容 と 具 体 例
経済的虐待	<p>【内容】</p> <p>本人の合意なしに財産や金銭を使用し、本人の希望する金銭の使用を理由なく制限すること。</p>
	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活に必要な金銭を本人が希望するのに渡さない、または使用させない ・ 本人の自宅等を本人に無断で売却する ・ 年金や預貯金を本人の意思・利益に反して使用する / 等
介護・世話の 放棄・放任	<p>【内容】</p> <p>意図的であるか、結果的であるかを問わず、介護や生活の世話をしている家族が、その提供を放棄または放任し、高齢者の生活環境や、高齢者自身の身体・精神的常態を悪化されていること。</p>
	<p>【具体例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴しておらず異臭がする、髪が伸び放題だったり、皮膚が汚れている ・ 水分や食事を十分に与えていないことで、空腹状態が長時間にわたって続いたり、脱水症状や栄養失調の状態にある ・ 室内にゴミを放置する等、劣悪な住環境の中で生活させる ・ 高齢者本人が必要とする介護・医療サービスを、相応の理由なく制限したり使わせない / 等